

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分野	2 朝鮮をめぐる対立 日清戦争	1	1	日本と中国との間でどのような対立があり、戦争の結果、日本と中国はそれぞれどのようなようになったのか、風刺絵の資料や地図などを活用しながら流れ図でまとめる。	【知・技】日清戦争開始のきっかけとなったできごと、戦争の結果（下関条約の内容）や三国干渉後の朝鮮の状況までを、流れ図を用いて適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】日清戦争によって、日本・中国・朝鮮のアジアでの立場がどのように変わったのかをさまざまな面から考察し、欧米列強との関係もふまえて適切に表現している。
歴史的分野	3 世界が注目した日露戦争	2	1	日本とロシアとの間でどのような対立があり、その結果はどうなったのか、風刺絵の資料や地図などを活用しながら関係図でまとめる。	【知・技】日本とロシアが対立した背景について、「満州」（中国東北部）やイギリスもふくめた関係図を用いて、適切にまとめ、理解している。 【知・技】ポーツマス条約で決まったことによって、日比谷焼き打ち事件などの暴動が起こった理由（賠償金が得られなかったこと）を理解している。 【思・判・表】日露戦争によって、日本と外国との関係がどのように変わったのかをさまざまな面から考察し、アメリカとロシア、韓国との関係について適切に表現している。
歴史的分野	4 塗り替えられたアジアの地図	3	1	日清・日露戦争後のアジアの人々の意識の変化、韓国や満洲における日本の政策、中華民国の成立の経緯について、資料などから読み取る。 ◇条約の具体的な内容やアジアの人々からの視点に着目させて、日本の立場の変化を考えさせる。	【知・技】日本と韓国の関係の変化について、日露戦争後から韓国併合とその後の日本の植民地政策までを整理し、流れ図などを用いて適切にまとめ、理解している。 【知・技】日露戦争後に中国で起こった辛亥革命によって皇帝による政治が終わったことや、アジア初の共和国である中華民国が成立したことを文章から読み取り、理解している。 【思・判・表】日本でのアジアでの立場が日清・日露戦争後にどのように変わったのかをさまざまな面から考察し、アジア諸国の立場から考えられること（日本が帝国主義国としての動きを活発にしたこと）にもふれて、適切に表現している。
歴史的分野	1 近代日本を支えた糸と鉄	4	1	日本の軽工業や重工業はどのように発展していったのか、地図やグラフなどの資料から読み取る。	【知・技】近代日本の工業化について、軽工業と重工業に分け、それぞれの工業製品を示しながら、表などで適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】軽工業と重工業の発展によって、日本の経済と産業はどのように変わったか、貿易上の地位の向上や軍需産業に力が入れたこと、財閥の登場などに着目して考察し、適切に表現している。
歴史的分野	2 変わる都市と農村	5	1	工業化が進むなかで、農村や都市での人々の生活はどのように変化したのか、資料などから読み取り、その理由を考える。	【知・技】農村で小作人になる農民が増えた理由や、海外に移住する人々が増えた理由について、当時の社会的な背景をもとに理解している。 【知・技】社会問題が起こった背景として労働者の労働条件に関する問題があったことや、社会主義の運動が始まったことを理解している。 【思・判・表】工業化の進展によって農村の生活がどのように変化したか、イラストの資料などをもとに「光」と「陰」の両面から考察し、適切に表現している。

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分野3	欧米の影響を受けた近代文化	6	1	明治時代になって、人々の生活や文化はどのように変化したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇歴史を探ろう(「絹の道」と日本の製糸業)を参考に、重要な輸出品であった生糸の生産を農村が支えたり、輸送のために鉄道が敷設されたりしたことに着目して考えさせる。	【知・技】日本の伝統文化や欧米文化に関わった人物に着目し、美術などの発展において、どのような動きがあったかを調べて適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】学校生活で身につけられる能力や習慣などに着目して、「近代化」のために学校教育が果たした役割を考察し、「国民」「標準語」という語を用いて適切に表現している。
歴史的分野	章の学習を振り返ろう	7	1	日本の「近代化」を経済や産業、政治や制度、文化や生活、国際社会という4つの観点ごとに評価し、最も重視したい観点を選んでその理由を説明する。 近代前半とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。	【知・技】章の学習を振り返り、日本の近代化を観点ごとに評価し、歴史的な見方・考え方を働かせて、重視する観点を選んで総合判定を行い、効果的にまとめている。 【思・判・表】「近代化」を観点ごとに評価する活動などを通して、近代前半の日本と世界を大観し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主】近代の国家づくりについて、現代のあり方と比較するなどして、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史的分野1	第一次世界大戦の始まりと総力戦	8	1	第一次世界大戦は、どのようにして起こり、どのような特徴をもつ戦争だったのか、ヨーロッパの国際関係を図でまとめたり、写真資料などから読み取ったりする。	【知・技】戦争に参加した国々が多くの植民地をもっていたことをふまえて、第一次世界大戦が世界規模の総力戦となった理由について理解している。 【知・技】それまでの戦争にはみられなかった第一次世界大戦の特徴を、写真資料などから適切に読み取り、理解している。 【知・技】第一次世界大戦の背景となる、バルカン半島をめぐる国々の対立がどのようなものだったか、図にまとめるなどして理解している。 【思・判・表】総力戦によって、列強各国の政府が女性や植民地の人々にどのようなことを行ったか(女性の権利を拡大する政策)をふまえて、その影響(女性の地位の向上、戦後の自治が約束されたこと)を考察し、適切に表現している。
歴史的分野2	第一次世界大戦の拡大と日本	9	1	日本は、第一次世界大戦やロシア革命にどのようにかかわったのか、資料などから読み取る。	【知・技】第一次世界大戦中に日本が中国に示した二十一か条の要求の中で、日本が実現させた要求の内容をふまえて、中国での反日運動が本格的に始まったり、欧米列強が日本への不信感を高めたりしたことを理解している。 【思・判・表】日本が第一次世界大戦に参戦した理由、シベリアに出兵した理由について、イギリスとの関係やロシア革命の影響などをもとに考察し、適切に表現している。
歴史的分野3	第一次世界大戦後の欧米諸国	10	1	第一次世界大戦を経て、国際関係はどのように変化したのか、欧米諸国で起こったことや民主主義の高まりなどに着目して、具体的な動きを読み取る。	【知・技】ベルサイユ条約は戦勝国と敗戦国にとってどのような内容だったか、それぞれの植民地の動きにもふれながら、表などを用いて適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】第一次世界大戦後、欧米諸国の政治にはどのような変化があったか、具体的な例をふまえて考察し、適切に表現している。 【思・判・表】国際連盟が強い力をもてなかった理由について、アメリカの不参加などをふまえて考察し、適切に表現している。

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分野4	アジアの民族自決と国際協調	11	1	<p>第一次世界大戦後、アジアではどのような運動が起こり、日本や欧米諸国はどのように対応したのか、朝鮮・中国・インドに着目して、具体的な動きを読み取る。</p> <p>◇戦勝国と敗戦国で起こった変化、それぞれの植民地における異なる変化に着目して考えさせる。</p>	<p>【知・技】朝鮮・中国・インドで起こった運動の内容を表に整理し、それぞれの要求などを適切にまとめ、理解している。</p> <p>【知・技】パリ講和会議(ベルサイユ条約)やワシントン会議で中国に関して決められたことについて、資料や文章から読み取って理解している。</p> <p>【思・判・表】1919年に朝鮮・中国・インドで民族運動が起こった背景について、日本やイギリスの動きをふまえて考察し、適切に表現している。</p> <p>【思・判・表】ワシントン会議の結果に日本の軍部が批判的だった理由について、国際協調の具体的な内容をもとに考察し、適切に表現している。</p>
歴史的分野	タイムトラベル⑩ 大正～昭和初期を眺めてみよう	12	1	<p>大正時代から昭和初期のころに産業が発達してきたある地方都市の駅前のようなすえがいた想像図を見て、明治時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」)を設定する。</p>	<p>【知・技】大正時代から昭和初期と明治時代の駅周辺のようなすの違について、建築物や交通機関、人々の役割や政治参加のようすなどから適切なことがらを読み取っている。</p> <p>【思・判・表】男子普通選挙の実現、工業の発達と労働運動の始まり、交通機関の整備、生活習慣の欧米化など、大衆とよばれる人々が現れるようになったことなどについて、明治時代との共通点や相違点を考察し、写真資料などをもとに適切に表現している。</p>
歴史的分野1	護憲運動と政党内閣の成立	13	1	<p>第一次世界大戦によって、日本の政治や経済はどのように変化したのか、資料などから読み取ったり考えたりする。</p>	<p>【知・技】原内閣の成立にはどのような意味や意義があったのか、それまでの内閣との成立と異なる点に着目し、初めての本格的な政党内閣であったことなどを適切に読み取り、理解している。</p> <p>【知・技】第一次世界大戦が始まってから日本経済が急成長した理由(大戦景気)とその影響(物価の急上昇)を理解している。</p> <p>【思・判・表】護憲運動とはどのような運動か、自由民権運動との違いに着目しながら考察し、適切に表現している。</p>
歴史的分野2	社会運動の高まりと普通選挙の実現	14	1	<p>大正時代に、デモクラシーはどのような形で展開したのか、選挙権の拡大やさまざまな社会運動に着目し、資料などをもとにまとめる。</p>	<p>【知・技】大正デモクラシーという言葉が、当時の具体的な運動や政党政治の実現などをもとにして、どのような風潮を意味するのかを理解している。</p> <p>【思・判・表】護憲運動、女性、労働者、差別された人々のそれぞれの立場から、大正デモクラシーの時期に展開された社会運動について考察し、どのようなことをなぜ求めていたのか、適切に表現している。</p>
歴史的分野3	近代都市に現れた大衆文化	15	1	<p>大正時代から昭和初期にかけて、人々の生活や文化はどのように変化したのか、社会の変化や文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇軍縮、国際協調、政党政治、大衆文化などのキーワードをもとに考えさせる。</p>	<p>【知・技】大正から昭和初期の時期に広まり、現代につながる欧米の文化や習慣について、「衣・食・住・子ども・その他」に分けて、表を用いて適切にまとめ、理解している。</p> <p>【思・判・表】都市を中心に大衆文化が広まった理由について、新聞の発行部数が増え、多くの雑誌が出版されてきたことや、学校教育や大正デモクラシーの影響などをふまえて考察し、適切に表現している。</p>

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分類	多面的・多角的に考えてみよう 「母性保護論争」を考察する	16	1	女性の社会進出に際して、出産や育児の負担をどのように解決するか、男女の役割や国からの保護、女性や社会のあり方についてのさまざまな主張に対する自分なりの意見を発表する。	【知・技】大正末期から女性の社会進出が進む一方で、出産や育児、家事での女性の負担が大きかったことを資料から読み取り、このような女性を国が経済的に保護すべきかどうかについての論争で、女性が自立・独立できる社会のあり方についてさまざまな主張があり、それぞれがどのような根拠にもとづいていたか、資料をもとに理解している。 【思・判・表】育児や家事における男女の役割、女性の権利と義務、国の役割などの観点から、当時の状況の中で課題となっていたことを考察し、その解決の方法について当時の女性活動家の主張から選択したり、新たな主張を考えたりし、根拠を明確にして適切に説明している。
歴史的分類	1 世界恐慌と行き詰まる日本	17	1	アメリカから始まった世界恐慌は世界や日本へどのような影響を与えたのか、資料などから読み取ったり考えたりする。	【知・技】不景気の影響から日本で起こった出来事を読み取り、都市と農村に分けて適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】アメリカの不景気が世界に広まった理由、不景気の影響が日本の農村で特に大きかった理由(アメリカへの生糸の輸出が激減し、養蚕業が衰退した)を考察し、それぞれ根拠を示しながら適切に表現している。
歴史的分類	2 欧米諸国が選択した道	18	1	世界恐慌に対して、欧米諸国はどのように対応したのか、資料などから読み取り、政策の違いや共通点をまとめる。	【知・技】アメリカ・イギリス・フランス・ソ連が行った経済政策を読み取り、ブロック経済など共通している内容やその目的などを、表などで適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】ドイツでファシズムが台頭した理由を考察し、国民からの支持が得られたことなどにふれながら、適切に表現している。
歴史的分類	3 強まる軍部と衰える政党	19	1	満州事変以後、政党政治はどのように変化したのか、軍部が台頭していく経緯に着目して読み取ってまとめる。	【知・技】五・一五事件と二・二六事件による影響を読み取り、政党政治が変化した様子を示した図も活用して、軍部が力を強めていった経緯を適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】人々が軍部を支持するようになった理由を考察し、「政党政治」「不景気」「満州」という言葉を用いて適切に表現している。
歴史的分類	4 日中戦争と総力戦に向かう国民生活	20	1	日中戦争はどのようにして始まり、日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのか、資料などから読み取ってまとめる。 ◇日本、ドイツ、イタリアの共通点やイギリス、フランス、アメリカの共通点に着目し、考えさせる。	【知・技】戦争を進めるために、政府が国民に対して行った生活に関する政策を読み取り、それぞれのねらいについても適切にまとめ、理解している。 【知・技】日本と中国は、ドイツ・アメリカ・イギリス・ソ連とどのような関係であったかを、関係図を用いて適切にまとめ、理解している。 【知・技】日中戦争の始まりによって日本と中国の国内で起こった動きを文章から読み取り、理解している。 【思・判・表】中国との戦争が長期化した理由を考察し、中国国民党(国民政府)と中国共産党が抗日という目的で一つにまとまったことや、国民政府がアメリカやイギリスなどの支援を受けて徹底抗戦を続けたことなどにふれながら、適切に表現している。

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分野	タイムトラベル① 第二次世界大戦期を眺めてみよう	21	1	第二次世界大戦の時代の阪神地域のある都市のようすをえがいた想像図を見て、大正～昭和初期と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」)を設定する。	【知・技】第二次世界大戦の時代と大正時代から昭和初期の都市のようすの違いについて、人々の服装や暮らし、学校教育、町の立て看板に書かれた内容などから適切なことがらを読み取っている。 【思・判・表】工業の発達、軍国主義的な教育やさまざまな社会の統制、新聞が果たした役割など、大正～昭和初期との共通点や相違点を考察し、写真資料などをもとに適切に表現している。
歴史的分野1	第二次世界大戦への道	22	1	第二次世界大戦はどのようにして始まり、日本と欧米諸国の関係はどう変化していったのか、また、日本とアメリカの交渉はどのように展開したのか、資料などから読み取ってまとめる。	【知・技】日本が日独伊三国同盟、日ソ中立条約を結んだ目的を、適切に読み取り、理解している。 【知・技】第二次世界大戦が始まって以降の、日本とドイツ・アメリカ・ソ連との関係とその変化を図などにまとめ、理解している。 【思・判・表】日本とアメリカの対立が深まっていった理由について、戦争を避けるための交渉を続けていながらも、それが決裂する経緯をふまえて考察し、「ファシズム」「民主主義」「資源」という言葉を用いて適切に表現している。
歴史的分野2	太平洋戦争と植民地支配の変化	23	1	日本の植民地や占領下の地域では、どのような政策が行われ、どのような反応があったのか、インドネシアで使われている教科書の資料などから読み取ったり、考えたりする。	【知・技】日本軍が掲げた「大東亜共栄圏」の考え方やアジアの人々のとらえ方を、資料などから適切に読み取り、理解している。 【思・判・表】占領下の国や地域で抗日運動が起こった理由を、日本が植民地・占領下で行った政策の内容やねらいをふまえて考察し、適切に表現している。
歴史的分野3	戦局の悪化と戦時下の暮らし	24	1	戦争はどのように展開し、それによって人々の生活はどのように変化したのか、写真や資料などから読み取る。	【知・技】戦局が悪化したことで行われた政策とその内容を読み取り、理解している。 【知・技】戦局の悪化にともない、学生や小学校に通っていた子どもたちがどのような生活を強いられたか、文章から読み取って理解している。 【知・技】戦場となった沖縄で、多くの住民が犠牲になったさまざまな理由について理解している。 【思・判・表】多くの国民が戦争の勝利を信じていた理由を、当時の新聞などをもとに考察し、「政府」という言葉を用いて適切に表現している。
歴史的分野4	ポツダム宣言と日本の敗戦	25	1	太平洋戦争をふくめた第二次世界大戦では、どれだけの犠牲があり、どのような経緯をたどって終わったのか、具体的な事実を整理してまとめる。 ◇日中戦争とアメリカ・イギリスとの戦争のつながり、沖縄戦に関する資料に着目して考えさせる。	【知・技】ヤルタ会談、東京大空襲、沖縄戦、ドイツの降伏、広島・長崎への原爆投下、ソ連参戦、ポツダム宣言受諾など、1945年の世界と日本の動きについて、多くの犠牲者を生んだ出来事を中心に、8月は日付もふくめて表などにまとめ、理解している。 【思・判・表】第二次世界大戦では、沖縄戦や原爆投下に関する資料などをふまえ、なぜ多くの犠牲者が出てしまったのかを考察し、適切に表現している。

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分野	章の学習を振り返ろう	26	1	日本の主な出来事に対して、日本の世論はどのようなものだったかを考え、世論が大きく転換した時期を選び、その理由を説明する。近代後半とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。	【知・技】章の学習を振り返り、日本の主な出来事に対する世論を調べ、歴史的な見方・考え方を働かせて世論が大きく転換した時期を選び、効果的にまとめている。 【思・判・表】世論の変化に着目するなどして近代後半の日本と世界を大観し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主】世論が果たす役割について、現代のあり方と比較するなどして、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史的分野	タイムトラベル⑫ 高度経済成長期を眺めてみよう	27	1	新幹線が開通した1960年代のあるまちのようすをえがいた想像図を見て、第二次世界大戦期と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取る。	【知・技】高度経済成長期と第二次世界大戦期の都市の共通点や違いについて、建築物や交通機関、子どもたちのようすや人々の役割などから、適切なことがらを読み取っている。 【思・判・表】工業の発達、家電製品や自動車の普及、新幹線の開通、女性の役割、子どもたちの遊びなど、第二次世界大戦期との共通点や相違点を考察し、写真資料などをもとに適切に表現している。
歴史的分野	1 敗戦からの出発	28	1	敗戦後、どのような改革が行われ、またどのような影響が残ったのか、写真資料などから読み取ってまとめる。	【知・技】GHQが日本政府に対し、軍国主義の徹底的な排除と民主化を進めるための政策を指示したことを読み取り、理解している。 【知・技】敗戦が海外にいた人々に与えた影響という点から資料などを読み取り、海外の軍人や民間人の中には、戦争が終わった直後に日本にもどることができなかった人々がいたことなどを理解している。 【知・技】GHQの改革指令を受けて、日本政府がどのようなことを行ったのか、次時の内容もふまえて理解している。 【思・判・表】「すべての戦後が同時に始まったわけではなかった」という言葉の意味や経緯を考察し、具体的な人々の生活の困難にふれながら、適切に表現している。
歴史的分野	2 新時代に求められた憲法	29	1	占領下の日本では、どのような改革が行われたのか、資料などから読み取ったり、それらの意義を考えたりする。	【知・技】この時期に進展した日本の民主化政策(財閥解体、農地改革など)の内容とそのねらいについて、資料から読み取れることをふまえて理解している。 【思・判・表】戦後の日本が目標としていた国づくりについて、日本国憲法にもりこまれた人々の期待をふまえて考察し、適切に表現している。
歴史的分野	3 冷たい戦争とその影響	30	1	冷戦は、日本をふくめ、世界各地にどのような影響を与えたのか、朝鮮戦争をおもに取りあげて考えさせる。 ◇GHQの方針と朝鮮戦争後にそれが転換したことに着目して考えさせる。	【知・技】冷戦の影響によってドイツや朝鮮が分断され、西ドイツと東ドイツ、韓国と北朝鮮に分かれたことを理解している。 【思・判・表】日本が冷戦体制に組みこまれた背景を考察し、平和主義の原則の下、非軍事化が進められていた日本で、自衛隊がつくられた経緯にふれながら、適切に表現している。

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分類	1 日本の独立と世界の動き	31	1	独立を回復した日本は、どのような課題をかかえるようになったのか、条約の内容などを読み取ったり考えたりする。	【知・技】サンフランシスコ平和条約で決まった内容を適切に読み取り、理解している。 【思・判・表】独立を回復し国際社会に復帰する過程で、日本に残された課題を考察し、適切に表現している。 【思・判・表】日米安全保障条約の改定をめぐる安保闘争について考察し、賛成と反対、それぞれの意見を、根拠を明確にして適切に表現している。
歴史的分類	2 冷戦下での日本とアジア	32	1	ベトナム戦争により、日本をふくめた東アジアの関係はどのように変化したのか、沖縄の復帰や韓国・中国との関係に着目し、資料などから読み取ってまとめる。	【知・技】復帰前と復帰後で沖縄はどのように変化したか、また、変化していないことは何かを具体的なことがらをもとに理解している。 【思・判・表】日本と韓国・中国との国交正常化が進められた背景と、残された問題点について考察し、適切に表現している。
歴史的分類	3 経済成長による日本の変化	33	1	日本はどのような問題をのりこえて、経済成長を進めてきたのか、写真やグラフなどの資料から読み取ったり考えたりする。	【知・技】経済成長期に現われてきた社会問題として、公害問題や貿易摩擦の問題などがあることを理解している。 【思・判・表】高度経済成長によって、日本の経済や産業にどのような変化があったかを考察し、適切に表現している。 【思・判・表】石油危機を経験して、行われるようになった対策(省エネルギー技術の開発、原子力発電)をいくつかあげ、それらの意義について考察し、適切に表現している。
歴史的分類	4 日本の社会と国際関係の変化	34	1	日本が経済大国になったことで、どのような影響が日本の社会や国際社会に及んだのか、写真やグラフなどの資料から読み取ったり考えたりする。	【知・技】1980年代に日本国内で行われた具体的な改革の例を、文章から読み取らせる。 【思・判・表】日本が経済大国となったことで、国際社会に与えた影響にはどのようなものがあつたかを考察し、適切に表現している。
歴史的分類	5 大衆化・多様化する戦後の文化	35	1	戦後復興期から高度経済成長期にかけて、人々の生活や文化はどのように変化したのか、社会の変化や文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇政治については国際連合への加盟や各国との関係などについて、経済については政府開発援助(ODA)の推移を示すグラフのデータなどに着目して、考えさせる。	【知・技】高度経済成長期の「三種の神器」の名称(電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ)とその影響(家事の時間短縮と余暇の時間の増加)について、文章やグラフなどから読み取り、理解している。 【知・技】戦後復興期や高度経済成長期を代表する文化人のうち、教科書で紹介されている人物を調べてレポートにまとめ、理解している。 【思・判・表】戦後復興期と高度経済成長期で、マスメディアはどのように変化したか、映画とテレビの登場などに着目して考察し、適切に表現している。
歴史的分類	1 グローバル化が進む世界	36	1	どのようにして冷戦が終わり、その後世界ではどのようなことが起こったか、写真資料などから読み取る。	【知・技】冷戦後に起こった主な紛争・戦争について、写真資料などをもとに適切に読み取り、理解している。 【思・判・表】グローバル化に伴って起こった出来事について、地域統合の動きや地域紛争の激化などをもとに、経済面と国際政治面から考察して、適切に表現している。

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
歴史的分野	2 激変する日本とアジア	37	1	1990年代初めや平成の時代の日本では、政治と経済、東アジアとの関係の面でどのような変化が起こったか、写真やグラフの資料から読み取る。	【知・技】冷戦後に起こった日本での政治面と経済面の大きな出来事(「55年体制」の終わりやバブル経済の崩壊)を文章から読み取り、それぞれの経緯を適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】財政の赤字が増加する理由について、高齢化が進んでいることに着目して考察し、社会保障費が増大していることなどを適切に表現している。
歴史的分野	3 国際社会におけるこれからの日本	38	1	日本や世界が直面している課題について、歴史から学んだことを生かして、よりよい未来をつくるための取り組みを考え、発表する。 ◇政治、経済、国際関係などの面から、解決すべき大きな課題であると考えられる出来事を選ばせ、「持続可能な社会」の実現を視野に入れて考えさせる。	【知・技】全世界に共通している課題と、日本の他、特定の国や地域が直面している課題について、今まで日本が国際社会のなかで取り組んできたことにもふれながら、表などで適切にまとめ、理解している。 【思・判・表】直面している課題のうちの一つ(人口問題、環境問題、エネルギーの安定供給の問題など)を選び、それに取り組むためにはどのようにしたらよいか、歴史で学んだことを生かして考察し、適切に表現している。
歴史的分野	章の学習を振り返ろう	39	1	日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事を取り上げて重要度が高い順に並べ、グループで発表し合い、それぞれの考えを深めさせる。 現代とはどのような時代か、自分の言葉で説明したり、意見交換を行ったりする。	【知・技】章の学習を振り返り、日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事を選んで、歴史的な見方・考え方を働かせて重要度が高い順に並べるなど、効果的にまとめている。 【思・判・表】日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事に着目するなどして、現代の日本と世界を大観し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主】現代の日本社会の形成過程をもとに、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史的分野	多面的・多角的に構想する 未来に向けて	40	1	社会的な関心からテーマを決め、現代にいたるまでの歴史的な経緯を整理し、さまざまな角度から課題解決への鍵を探って、未来へのメッセージをまとめる。	【思・判・表】これまでの歴史学習をふまえ、歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界のあり方について、適切な課題を設定し、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
公民的分野	1 つながる世界と私たち	1	1	・グローバル化という視点から、身近な暮らしと世界とのつながりについて、具体的な事例を通して理解する。 ・グローバル化によって新たに生まれてきた課題や、今後の暮らしへの影響に気づく。	【知・技】インターネットの普及やグローバル化がもたらす長所・短所を、さまざまな統計資料をもとに調べまとめ、今後、それらが私たちの生活にどのような変化をもたらすか理解している。 【思・判・表】インターネットの普及やグローバル化がもたらす長所・短所を明らかにしながら、国際社会のさまざまな問題や、情報活用の仕方、異なる価値観をもつ他者との共存のあり方について考察し、表現している。
公民的分野	2 急速に進展する情報社会	2	1	・急速に進化する情報社会の特徴を理解し、情報との接し方や活用の仕方を考える。 ・情報社会において、自分たちが情報を伝え合うことや世界とつながることの意味に気づく。	【知・技】情報化の長所・短所や、AI、IoT、Society5.0、SNS等の語句を理解し、情報の発信者として情報を読み取る力やメディアリテラシーを身につけている。 【思・判・表】情報化やAIの進展が、これからの社会や私たちの暮らしにどのような影響を与えるか、多面的・多角的に考察し、表現している。
公民的分野	3 進む少子高齢社会	3	1	・社会の変化を背景とする、少子化や高齢化、核家族化といった家族や家庭のあり方の変化について理解する。 ・少子高齢社会の課題に気づき、国や地域の対策と、自分たちができることを考える。	【知・技】少子高齢化、核家族化の現状について調べ、その背景や今後の社会に与える影響について理解している。 【思・判・表】生産年齢人口の割合や高齢化率、単独世帯数の推移に関わる資料等をもとに、今後どのような社会になっていくか、多面的・多角的に考察し説明している。
公民的分野	1 豊かな生活を実現するために	4	1	・科学技術の発展がもたらした社会の変化や、私たちの身近な暮らしへの影響について理解する。 ・日本人の宗教観と宗教のもつ意味や、芸術の果たす役割について考える。	【知・技】科学技術の発展や宗教、芸術などの文化が、社会の変化や私たちの暮らしに与えた影響についてさまざまな資料からまとめ、その意義や価値を理解している。 【思・判・表】科学技術の発展による社会の変容を推測し、身近な暮らしの中で宗教や芸術が果たす役割を、多面的・多角的に考察し、表現している。

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野	2 伝統文化の継承と新たな文化の創造	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から日本の伝統文化を見だし、身近な暮らしの中でどのような役割を果たしているかを理解する。 異文化交流を積極的に行うことの意義について考える。 	<p>【知・技】グローバル化が進む社会の中で、日本の伝統文化が果たす役割を理解している。</p> <p>【思・判・表】日本の伝統文化が私たちの生活に与えている影響や、世界に発信したい日本の伝統文化・ポップカルチャーについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けてなぜ、伝統や文化をつないでいく必要があるのだろう	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 過去から受け継がれ、身近な場所に息づいている伝統や文化について理解し、未来へ継承していくことの意味について考える。 	<p>【知・技】私たちの暮らしを支える身近な文化のもつ意味や特徴について調べ、理解している。</p> <p>【思・判・表】後世に伝えたい日本の伝統文化について、多面的・多角的に考察し、説明している。</p> <p>【主】過去から受け継がれてきた文化を未来へ継承していくために、取り組むべきテーマを見だし、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
公民的分野	1 さまざまな人と生きる	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 人間は、誰もが社会集団の中で生きる社会的存在であることに気づき、人々の間のさまざまな対立の存在と、それを解決し合意を旨ざしていくことの意義に気づく。 ルールやきまりに込められた意味を理解し、契約とそこにある責任と義務などの重要性について考える。 	<p>【知・技】対立から合意を形成していくための方策として、ルールやきまりが成り立っていることや、契約を結ぶことの責任と義務、話し合いのさまざまな方法の長所と短所を理解している。</p> <p>【思・判・表】話し合いを経て合意を形成する過程のあり方を、「スマートフォンの使用をめぐるルールづくり」を例に考察し、表現している。</p>
公民的分野	2 誰もが大切にできるルールとは	8	1	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを通じて具体的なルールやしきみをつくっていく際、効率と公正という考え方が必要になることを理解する。 効率と公正の観点で他者との合意を形成する努力を積み重ねながら、対立から合意を得ていくことができることに気づく。 	<p>【知・技】社会や身近な暮らしの中で起こる対立の解決を旨ざし、効率と公正の観点から合意を図ることの意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】「合唱コンクールの練習」を例に、効率と公正の観点から最適解を導き出すことの意義を、多面的・多角的に考察し、説明している。</p>
公民的分野	3 地域のルールをつくるには	9	1	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを通じて、対立する意見を調整しながら合意を得ることの意義を理解し、自分たちでつくったルールを守っていくことの大切さに気づく。 対立と合意を繰り返しながら、ルールを見直し、よりよいルールをつくっていくことができることを理解する。 	<p>【知・技】社会生活を営む上でのルールが果たす役割や、状況の変化や新しい問題が発生した際には、対立と合意を繰り返しながら、よりよいルールにつくりかえることができることを理解している。</p> <p>【思・判・表】「ごみ収集所の設置場所のルールを評価しよう」をもとに、各グループから出された提案の評価を、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、説明している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けてなぜ、ルールをつくる必要があるのだろう	10	1	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人と「ともに生きる」よりよい社会を築いていくために必要なことを理解し、対立と合意を繰り返しながらルールをつくり守っていくことの意味について考える。 	<p>【知・技】社会はさまざまな事情を抱えた人同士で成り立っていることを調べ、理解している。</p> <p>【思・判・表】「避難所における課題」を例に、快適な避難所となるよう多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】さまざまな人と「ともに生きる」よりよい社会を築くための課題の解決に向けて、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野	学習のまとめと表現 第1章：私たちの暮らしと現代社会	11	1	<ul style="list-style-type: none"> 第1章の各節で学習したことを振り返り、現代社会、文化、ルールづくりについて理解する。 第1章の問いについて、見方・考え方はたらかせて、多面的・多角的に考察し、表現する。 私たちが生きる現代社会と文化の特色や、現代社会を捉える枠組みの諸課題について着目し、主権者としてよりよい社会の構築に向けて関わろうとする。 	<p>【知・技】第1章の各節で学習したことを振り返り、現代社会、文化、ルールづくりについて理解している。</p> <p>【思・判・表】第1章の学習を振り返って、位置や空間的な広がり、推移や変化、対立と合意、効率と公正などに着目して、章の問いについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】第1章のはじめに立てた学習の見通しを踏まえて、学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p> <p>【主】私たちが生きる現代社会と文化の特色や、現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題を考察し、課題解決に向けてさらに追究しようとしている。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野1	人権の考え方と歴史	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・人権思想の歴史や特色を整理し、人権の保障が必要となった背景について考えを深める。 ・大日本帝国憲法制定の背景や、内容の特徴について理解する。 	<p>【知・技】資料をもとに、世界の人権思想の歩みや大日本帝国憲法が誕生した背景を理解し、人権思想の発展過程や大日本帝国憲法の特徴について調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】人権思想の獲得が、歴史の中でどのような役割を果たしたのかを考察し、表現している。</p>
公民的分野2	憲法はこうして生まれた	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・立憲主義や法の支配などの考え方を理解し、憲法がもつ役割や意義に気づく。 ・日本国憲法の成立過程とその意義について、大日本帝国憲法との比較を通して理解を深め、憲法の三つの基本原理を理解する。 	<p>【知・技】日本国憲法で新たに保障されるようになった権利について、大日本帝国憲法と比較しながら調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】日本国憲法の成立過程について、歴史的事象と関連づけながら、大日本帝国憲法との違いから多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野3	国民の意思による政治	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の日本を担う主権者の一人として、国民主権の意義やその実現について考える。 ・象徴天皇制の意義や特徴について理解し、国民主権の原理について理解を深める。 	<p>【知・技】国民主権、象徴天皇制、憲法改正の手続きの具体的な内容について、掲載された各資料をもとに調べまとめ、理解している。</p> <p>【思・判・表】国民主権の意義について、象徴天皇制や憲法改正の手続きのしくみなどをもとに考察し、説明している。</p>
公民的分野1	基本的人権を尊重すること	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の大切さとともに、すべての人権の根源には個人の尊重という考え方があることを理解する。 ・誰もがかけがえのない存在であるためには、法の下での平等という考え方が大切であることに気づく。 	<p>【知・技】生命や人権を尊重しようという考え方の根源に個人の尊重の理念があることを理解し、憲法で保障された内容について調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】個人を尊重するために必要な権利やその理由について、身近な生活を含むさまざまな事例の中から考え、説明している。</p>
公民的分野2	差別をしない、させない	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を通じて差別の実態に気づき、自らの生活と結びつけて差別の問題について考える。 ・いまだ存在するさまざまな差別を許すことなく、解消に向けて主体的に考え、取り組んでいこうとする態度を身につける。 	<p>【知・技】部落差別やアイヌ民族、定住外国人差別の歴史的背景や、権利保障のための法律制定の経緯を調べまとめ、差別の解消に向けた取り組みの重要性について理解している。</p> <p>【思・判・表】部落差別やアイヌ民族、定住外国人への差別に関する具体例を通して、その解消に向けた取り組みを自分事として受け止め、考察し、表現している。</p>
公民的分野3	ともに生きる社会の実現へ	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人として尊重されることの意味を理解し、さまざまな違いをもった人々が活躍できる社会の実現の大切さを理解する。 ・女性や障がいのある人などへの差別や偏見が人権侵害であることを理解し、自らの意識や行動を変化させる態度を養う。 	<p>【知・技】女性差別の背景にある考え方や、障がいの権利が保障されるまでの経緯について調べまとめ、違いがある人々が活躍できる社会の重要性について理解している。</p> <p>【思・判・表】女性や障がいのある人々への差別や偏見に関する具体例から、共生社会を実現するための取り組みについて多面的・多角的に考察している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けてなぜ、差別は生まれるのだろう	18	1	<ul style="list-style-type: none"> ・LGBTやハンセン病問題への取り組みに関する具体的な事例を読み解くことを通じて、人権保障の大切さについてさらに深く考える。 	<p>【知・技】LGBTの取り組みや、ハンセン病問題の歴史的な背景について理解している。</p> <p>【思・判・表】LGBTやハンセン病問題への取り組みを通して、個人を尊重することの意義について考察し、表現している。</p> <p>【主】人権に関するさまざまな課題の解決に向けて、取り組むべきテーマを見だし、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
公民的分野4	自由ってなんだろう	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自由権の考え方や意義について、身近な生活との関わりから理解する。 ・日本国憲法の条文から、精神活動の自由についての内容を具体的に読み取り、理解を深める。 	<p>【知・技】過去に人々の自由が侵された事例を通して、自由権の意義やその種類を理解し、憲法の条文などから精神活動の自由の具体的な内容について調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】具体的な事例を通して、精神活動の自由についてさまざまな立場や視点から考察し、説明している。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野5	自由に生きる社会のために	20	1	<ul style="list-style-type: none"> 憲法で保障された身体の自由について、憲法の条文や具体例を通して理解を深める。 憲法で保障された経済活動の自由について、憲法の条文や具体例を通して、その意義や目的を考える。 	<p>【知・技】自由権における生命・身体の自由と経済活動の自由の、具体的な内容について調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】具体的な事例を通して、生命・身体の自由や経済活動の自由について、さまざまな立場や視点から考察し、説明している。</p>
公民的分野6	人間らしい生活とは	21	1	<ul style="list-style-type: none"> 社会権の意義について、自由権や平等権の保障との関連で考えるとともに、社会権の考え方が生まれた背景を理解する。 社会権の最も基本となる生存権の保障と、それに基づく制度について理解を深め、その意義を考える。 	<p>【知・技】少子高齢社会や経済格差の広がりなど、社会権が求められるようになった背景について調べまとめ、社会権の内容と意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】生存権の意義や、「人間らしい生活とは何か」、「そのために必要なものは何か」といった課題について、さまざまな視点から考察し、表現している。</p>
公民的分野7	人間らしい生活の実現へ	22	1	<ul style="list-style-type: none"> 社会権において、教育を受ける権利が保障されていることについて理解し、その意義を考える。 労働者を守る権利が保障されるようになった歴史的背景や、法の整備を含めた政府の取り組みについて理解する。 	<p>【知・技】「教育を受ける権利」や「労働者の権利」、「労働者を守るための法律」の内容や意義を調べまとめ、それぞれの歴史的背景や政府の取り組みを理解している。</p> <p>【思・判・表】教育や労働に関する権利が保障されるようになった背景について、歴史的経緯から考察し、説明している。</p>
公民的分野8	自ら人権を守るために	23	1	<ul style="list-style-type: none"> 参政権の内容と意義を具体的な事例を通じて理解し、国民が政治や裁判に積極的に参加し、監視することの重要性に気づく。 人権の救済を求める権利が保障されていることや、人権の救済のために多くの人が関わり、社会全体で人権を守るしくみづくりが進んでいることを理解する。 	<p>【知・技】資料を活用して参政権と請求権の内容を調べまとめ、人権を保障していく上で、政治や裁判に関心をもっていくことの重要性を理解している。</p> <p>【思・判・表】「B型肝炎訴訟」や「児童虐待の相談対応件数」などの具体的な事例をもとに、人権救済のあり方について考察している。</p>
公民的分野9	自由と権利を守るために	24	1	<ul style="list-style-type: none"> 自由と権利を守るために、国民一人一人が個々の責任や義務を果たすことの重要性について考える。 権利の濫用の問題や公共の福祉の意義を考え、相互の尊重や合意を図る態度の大切さに気づき、自らの態度や行動に具現化する。 	<p>【知・技】人権と公共の福祉がぶつかり合う具体例を調べまとめ、公共の福祉の意味を踏まえた上で国民の果たすべき義務やさまざまな権利について理解している。</p> <p>【思・判・表】人権と公共の福祉がぶつかり合う具体例をもとに、公共の福祉が担う役割について、さまざまな視点や立場から考察し、表現している。</p>
公民的分野10	発展する人権	25	1	<ul style="list-style-type: none"> 新しい人権の根拠や内容について、その背景となる社会の変化と関連づけて考えるとともに、さまざまな取り組みについて理解する。 新しい人権について、立場による考え方の違いや高まる個人の責任などに着目し、人権の問題を公正に判断する態度を養う。 	<p>【知・技】新しい人権が生まれてきた根拠やその内容について、具体的な事例を通して理解している。</p> <p>【思・判・表】新しい人権と従来の考え方を対比することを通して、社会の変化と人権のあり方について、多面的・多角的に考察している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けて なぜ、新たな人権問題が起こるのだろう	26	1	<ul style="list-style-type: none"> 新たな人権問題に関する論題のディベートを行うことを通して、それぞれの立場や考え方の違いを理解した上で、自分の考えや意見をもつようになる。 	<p>【知・技】ディベートのねらいや方法、流れを理解し、インターネットや新聞などで収集したさまざまな資料をもとに、自分の主張や根拠について調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】自分の主張の裏づけとなる根拠を、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主】新たな人権問題に関する課題の解決に向けて、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野11	人権侵害のない世界に	27	1	<ul style="list-style-type: none"> 世界に広がる人権問題と、それに対する取り組みについて理解し、国際的な理解と協力の必要性が高まっていることに気づく。 日本と世界の人権をめぐる課題の比較などを通して、今後果たすべき日本の役割や自分たちにできることを考える。 	<p>【知・技】日本と世界の人権をめぐる課題について、さまざまな資料やグラフなどをとって調べまとめ、人権尊重のために、国連や日本政府、NGOなどが取り組んでいることについて理解している。</p> <p>【思・判・表】人権侵害のない世界を築くことを国境を越える課題と捉え、自分自身がどう関わっていけるかについて考察している。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野1	憲法に定められた平和主義	28	1	<ul style="list-style-type: none"> 平和主義という考え方が生まれた背景に気づき、平和主義という考え方のもつ意義を考える。 日本のこれまでの平和主義の歩みや、安全と防衛の問題について、自衛隊と文民統制の視点などと関連づけて調べまとめ、その意義を理解している。 	<p>【知・技】日本国憲法第9条の「戦争の永久放棄」の考え方について、「主な国の憲法における平和条項」や、自衛隊の文民統制などと関連づけて調べまとめ、その意義を理解している。</p> <p>【思・判・表】日本の安全と防衛の問題について、自衛隊が設立された歴史的経緯や平和維持活動、文民統制の意義など、複数の視点から考察している。</p>
公民的分野2	日本の安全保障と平和主義のこれから	29	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本の安全保障の現状と、国際社会の平和に対する日本の貢献のあり方について理解を深める。 日本国憲法における平和主義の立場を踏まえながら、これからの社会の平和の構築について考える。 	<p>【知・技】「日本にある主な米軍基地」や「自衛隊の海外での主な活動」「日本の防衛に関する主なできごと」などの資料をもとに、日米安全保障条約の内容や日本の安全保障の現状について調べまとめ、国際平和に向けた日本の取り組みについて理解している。</p> <p>【思・判・表】自衛隊の海外派遣や世界から期待される日本の国際貢献について、対立する意見を踏まえた上で日本は何をしていくべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けてなぜ、沖縄に米軍基地が集中しているのだろう	30	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本の平和主義のこれまでの歩みと現状を理解した上で、未来の平和のために具体的な活動に取り組んでいる人たちの姿から、国際社会における平和の構築について考える態度を養う。 	<p>【知・技】日本の平和主義の理想と現実や、沖縄県の人々が置かれている現状などについて、資料や新聞、インターネットなどから調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】現在の日本がおかれている状況や、沖縄県の人々の姿を通して、「平和とは何か」「世界平和のために何ができるか」について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主】日本の平和主義のあり方と、国際社会の平和に関する課題の解決に向けて、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野	学習のまとめと表現 第2章：個人を尊重する日本国憲法	31	1	<ul style="list-style-type: none"> 第2章の各節で学習したことを振り返り、憲法、人権、平和主義について理解する。 第2章の問いについて、見方・考え方はたらしめて、多面的・多角的に考察し、表現する。 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などの諸課題について着目し、主権者としてよりよい社会の構築に向けて関わろうとする。 	<p>【知・技】第2章の各節で学習したことを振り返り、憲法、人権、平和主義について理解している。</p> <p>【思・判・表】第2章の学習を振り返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、章の問いについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】第2章のはじめに立てた学習の見通しを踏まえて、学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p> <p>【主】人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題を考察し、課題解決に向けてさらに追究しようとしている。</p>
公民的分野1	民主政治ってなんだらう	32	1	<ul style="list-style-type: none"> 民主主義の意義とともに、議会制(代議制)民主主義のしくみについて理解する。 多数決の原理と少数意見のあり方について理解し、民主主義と権力との関係について考える。 	<p>【知・技】独裁政治との対比を通して、民主主義の意義を理解し、議会制(代議制)民主主義のしくみや多数決の原理について調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】多数決の限界を踏まえた上で、少数意見の尊重と人権保障との結びつきについて考察している。</p>
公民的分野2	国民の代表を選ぶ選挙	33	1	<ul style="list-style-type: none"> 選挙の意義としくみについて理解し、選挙が果たす役割について考える。 日本の選挙制度の特徴について理解する。 	<p>【知・技】民主主義における選挙の重要性や日本の選挙制度のしくみ、さらに選挙権を保障するためのさまざまな制度について理解している。</p> <p>【思・判・表】小選挙区制と比例代表制の特徴について、それぞれの長所と短所を踏まえ、考察している。</p>
公民的分野3	18歳選挙権と私たち	34	1	<ul style="list-style-type: none"> 18歳選挙権が実現した背景とその意義について理解し、民主的な選挙権の行使について考える。 投票率の低下や一票の価値の地域による格差など、選挙をめぐるさまざまな課題について考える。 	<p>【知・技】投票率の低下や一票の価値の格差など、日本における選挙の課題について調べまとめ、選挙権の拡大やインターネット選挙運動の広がりについて理解している。</p> <p>【思・判・表】日本における若い世代の投票率の低下や、一票の価値の格差などがもたらす問題について、多面的・多角的に考察、構想している。</p>
公民的分野4	国民の願いをかなえるために	35	1	<ul style="list-style-type: none"> 政党がもつ意義や、政党のはたらきについて理解する。 政党と国民との関わりや、政党による政治運営などの観点から、政党政治の役割について考える。 	<p>【知・技】日本の主な政党が掲げる公約やマニフェストからそれぞれの主張を調べまとめ、日本の政党のしくみやはたらきについて理解している。</p> <p>【思・判・表】政党政治を進める上で選挙が果たす役割の大きさを、政党と国民の関わりについて判断し、考察、構想している。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野5	世論の形成とメディア	36	1	<ul style="list-style-type: none"> ・政党がもつ意義や、政党のはたらきについて理解する。 ・政党と国民との関わりや、政党による政治運営などの観点から、政党政治の役割について考える。 	<p>【知・技】日本の主な政党が掲げる公約やマニフェストからそれぞれの主張を調べまとめ、日本の政党のしくみやはたらきについて理解している。</p> <p>【思・判・表】政党政治を進める上で選挙が果たす役割の大きさを、政党と国民の関わりについて判断し、考察、構想している。</p>
公民的分野5	持続可能な社会に向けてなぜ、メディアリテラシーは大切なのだろう	37	1	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーの考え方がもつ意義について理解する。 ・さまざまな情報を活用する際の留意点や課題について、具体例をもとに考える。 	<p>【知・技】具体的な事例を通してマスメディアが報じる情報の特性について調べ、そこで得られる情報を批判的に読み解くことの意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】一つのできごとに対する複数メディアの取り上げ方の比較を通して、さまざまな情報を活用する際の留意点や課題について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主】大量の情報とつき合うためには、Critical Thinkingを身につける必要があることを理解し、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野1	国会の決定は国民の意思	38	1	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法で定められた国会の地位と、国会の種類やしきみについて理解する。 ・二院制がとられている意味と、「衆議院の優越」がもつ意義について考える。 	<p>【知・技】国会の種類や国会運営のきまりなどを調べまとめ、国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることを理解している。</p> <p>【思・判・表】日本が二院制や衆議院の優越を採用している理由について、その意義や背景の考え方を考察し、説明している。</p>
公民的分野2	国会は唯一の立法機関	39	1	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の制定を中心とした国会のさまざまな仕事や、国会での審議のしくみを理解する。 ・国会議員の具体的な活動や仕事を通して、議員が国会で果たす役割について理解を深める。 	<p>【知・技】法律制定までの流れや国会議員の立法活動の特徴や意義について調べまとめ、国会の主な仕事や審議の流れなどを理解している。</p> <p>【思・判・表】「法律の制定」を中心に国会議員の役割を捉え、立法活動の特徴や議員立法の意義について、多面的・多角的に考察している。</p>
公民的分野3	行政をまとめる内閣	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・首相や国務大臣の仕事や各行政機関、公務員の仕事から、内閣が果たす役割を具体的に理解する。 ・日本の議院内閣制のしくみとその意義について、アメリカの大統領制との比較を通して理解を深める。 	<p>【知・技】内閣の主な仕事や各省庁とのつながり、公務員の種類などを調べまとめ、行政のしくみについて理解している。</p> <p>【思・判・表】議院内閣制の意義や特徴について、アメリカの大統領制との比較を通して考察し、説明している。</p>
公民的分野4	暮らしを守る行政	41	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの暮らしと関わる行政が、どのような課題を抱え、改革を進めてきたかを理解する。 ・これからの行政のあり方と、行政における効率と公正について、具体的に考える。 	<p>【知・技】新聞記事やインターネットなどから、行政改革に関する内容を調べまとめ、行政権の肥大化から行政改革を経て現在に至るまでの変化と現状を理解している。</p> <p>【思・判・表】行政改革の長所と短所について、多面的・多角的に考察、構想し、説明している。</p>
公民的分野5	人権の尊重と裁判	42	1	<ul style="list-style-type: none"> ・裁判のはたらきと裁判所の種類について理解し、司法権の独立の意義に気づく。 ・三審制など人権を守るために確立したしくみを理解し、慎重な裁判を確保することの意義について考える。 	<p>【知・技】裁判のはたらきと裁判所の種類について調べまとめ、「司法権の独立」と「三審制」の意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】憲法で保障されている裁判に関する主な権利についての学習をもとに、法に基づいて争いごとを解決する上で大切な事柄について考察し、表現している。</p>
公民的分野6	民事裁判と刑事裁判	43	1	<ul style="list-style-type: none"> ・民事裁判と刑事裁判のしくみや特徴を、互いの裁判との比較から具体的に理解する。 ・裁判官、検察官、弁護士といった裁判に関わる人々の役割について理解し、被疑者・被告人の権利とその課題を考える。 	<p>【知・技】新聞記事やインターネットなどから、民事裁判、行政裁判、刑事裁判のそれぞれに関する情報を収集し、それぞれの裁判の種類とはたらき、特徴について理解している。</p> <p>【思・判・表】刑事裁判における裁判官、検察官、弁護士の役割を踏まえた上で、被疑者・被告人の権利とその課題についてさまざまな視点から考察している。</p>
公民的分野7	私たちの司法参加	44	1	<ul style="list-style-type: none"> ・裁判員制度のしくみと、制度が導入された意義について理解し、長所や短所について考える。 ・司法制度改革の課題と、これからの司法制度のあり方について考える。 	<p>【知・技】さまざまな資料をもとに司法制度の現状を調べ、裁判員制度を中心とする司法制度改革や今後期待される事柄について理解している。</p> <p>【思・判・表】裁判員制度の目的や長所・短所などを踏まえた上で、司法参加のあり方について、さまざまな視点から考察、構想している。</p>

第3学年 授業細目	社会 単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野	持続可能な社会に向けて なぜ、裁判員裁判の制度があるのだろう	45	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事例をもとに、自分が裁判員裁判に参加したとして判決を考える活動を通し、裁判の意義について理解する。 ・裁判に関わる人々の役割を理解し、その重要性に気づく。 	<p>【知・技】インターネットなどを活用し、裁判員裁判への参加に関するさまざまな情報を調べまとめ、実際の裁判の流れや、裁判員裁判に関わる人々の役割を理解している。</p> <p>【思・判・表】裁判の事例における「傷害罪」の有無や、「強盗致傷罪」の成立の有無などについて、自分が裁判に参加したつもりで多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】裁判の意義と、裁判員裁判への参加を理解するために、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野	8 互いに監視し合う三つの権力	46	1	<ul style="list-style-type: none"> ・三権分立のしくみに基づく司法権の独立の意義を理解し、違憲立法審査権の意義について考える。 ・三権の相互の抑制について考え、三権分立のしくみが権力の濫用を防ぎ、国民の自由を保障しようとしていることに気づく。 	<p>【知・技】三権分立のしくみの図を用いて、三権の関係をまとめ、三権分立のしくみと違憲立法審査権の意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】憲法の番人として最高裁判所が果たす役割や、三権が分立している理由について、多面的・多角的に考察し、説明している。</p>
公民的分野	1 地方自治ってなんだろう	47	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が抱える課題に気づき、住民参加による地方自治の大切さを理解する。 ・「民主主義の学校」ともよばれる地方自治のしくみについて、国政との比較などを通して理解し、地方分権の意義について考える。 	<p>【知・技】自分が住んでいる地域の課題やその解決策について、地方自治体が発行する広報紙や新聞記事などから調べまとめ、地方自治の意義を理解している。</p> <p>【思・判・表】これまで学習してきた国政との比較を通じて、地域社会の政治のあり方や地方分権の意義について考察し、説明している。</p>
公民的分野	2 暮らしを支える地域の行政サービス	48	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体の仕事とそのしくみについて、具体例を通して理解を深める。 ・各地でのさまざまな住民投票の実施や、特色ある条例の作成などから、住民がもつ権利とその意義について理解する。 	<p>【知・技】地方自治体のしくみや仕事内容について調べまとめ、地方自治体において間接民主制が機能するために必要な事柄を理解している。</p> <p>【思・判・表】地方自治体における直接民主制と間接民主制のしくみについて、住民に与えられた具体的な権利と関連づけて考察し、説明している。</p>
公民的分野	3 地域の暮らしを支えるために	49	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地方財政の現状を理解し、地方における財源の確保の重要性に気づく。 ・近年の地方財政が抱える課題を理解し、将来の地域社会のあり方とそこで果たす地方財政の役割について考える。 	<p>【知・技】自分が住む地方自治体の財政の現状について、地方自治体が発表する統計資料などをもとに調べまとめ、地方財政の現状や課題について理解している。</p> <p>【思・判・表】地方財政の現状を通して、地域が抱えているさまざまな課題について、多面的・多角的に考察、構想している。</p>
公民的分野	4 変わりゆく地域社会	50	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自立に関わる取り組みと、その課題について理解し、行政との協働も含めた今後の新たな取り組みについて考える。 ・外国人の住民との共生など、世界に開かれた地域社会のあり方について考え、理解を深める。 	<p>【知・技】地方自治体が行う開かれた地域づくりに向けた取り組みについて調べまとめ、地域社会をよりよくするための住民参加の重要性について理解している。</p> <p>【思・判・表】市町村合併における長所や短所などを踏まえた上で、地域社会で起こり得る対立の解決策を多面的・多角的に考察、構想している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けて なぜ、子どもたちを大事にするまちづくりが必要なのだろう	51	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の現状や抱えている課題について調べ、その解決策を考える。 ・地域の政治に対して、自分たちができる活動を考える。 	<p>【知・技】新聞記事やインターネットなどから、地域の政治についての市民の取り組みを調べまとめ、「市民オンブズマン」の役割など、さまざまな政治参加の取り組みとその意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】地域が抱える課題をもとに、これからの地域社会の発展に向け、自分のできることを考察、構想し、表現している。</p> <p>【主】身近な地域のまちづくりに関する課題の解決に向けて、取り組むべきテーマを見だし、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
公民的分野	学習のまとめと表現 第3章：私たちの暮らしと民主政治	52	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章の各節で学習したことを振り返り、民主政治、三権分立、地方自治について理解する。 ・第3章の問いについて、見方・考え方はたらかせて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・民主政治と政治参加に関する諸課題について着目し、主権者としてよりよい社会の構築に向けて関わろうとする。 	<p>【知・技】第3章の各節で学習したことを振り返り、民主政治、三権分立、地方自治について理解している。</p> <p>【思・判・表】第3章の学習を振り返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、章の問いについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】第3章のはじめに立てた学習の見通しを踏まえて、学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p> <p>【主】民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題を考察し、課題解決に向けてさらに追究しようとしている。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野1	家計ってなんだろう	53	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家計の果たす役割について、財やサービスの供給と、消費や貯蓄との関わりを考える。 ・支払いにはさまざまな手段があることを踏まえながら、消費の内容を正しく選択することの意義について理解する。 	<p>【知・技】クレジットカードや電子マネーなど、支払いにはさまざまな手段があることや、貯蓄の意義、消費内容の選択のあり方などについて理解している。</p> <p>【思・判・表】家計における消費の内訳の推移から読み取った変化の特徴を、社会の様子と関連づけながら考察し、説明している。</p>
公民的分野2	消費者を守るもの、支えるもの	54	1	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動における信用の大切さに気づき、消費者の安全や権利を守るために、法律や制度が定められていることを理解する。 ・消費者問題に取り組むさまざまな消費者行政が進められていることを理解し、消費者の自立における契約の意味を考える。 	<p>【知・技】売り手より商品に関する情報が限られる消費者には、安全や権利を守るための法律や制度があることや、自立した消費者としての責任が求められていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】契約がお互いの信用で成り立っていることの意味を踏まえながら、契約を結ぶ際に自立した消費者として何が必要かを考察し、表現している。</p>
公民的分野3	生産と消費を結ぶ	55	1	<ul style="list-style-type: none"> ・流通のしくみを理解し、自分たちの生活と流通との関わりに気づく。 ・流通機構の変化と発展における長所と短所を捉え、将来の自分たちの生活への影響について考える。 	<p>【知・技】生産された商品が消費者の手元に届くまでの流通経路や、さまざまな流通業の役割について理解している。</p> <p>【思・判・表】インターネットの普及による流通機構の変化と発展が、消費者や地域経済、環境に及ぼす影響に着目し、その長所と短所について多面的・多角的に考察して表現している。</p>
公民的分野1	生産活動を担う主体	56	1	<ul style="list-style-type: none"> ・企業という経済主体の果たす役割を、生産のしくみや生産要素を通して理解する。 ・資本主義経済のしくみとその特徴について理解する。□ 	<p>【知・技】企業が生産要素を用いて生産を行う意味と、個人や企業が利潤を追求する資本主義経済のしくみや性質を理解している。</p> <p>【思・判・表】利潤を追求する資本主義経済の性質を踏まえながら、資本主義経済が私たちの生活に与える恩恵や注意が必要な点について考察し、説明している。</p>
公民的分野2	さまざまな企業	57	1	<ul style="list-style-type: none"> ・私企業や公企業を中心とする日本のさまざまな企業の種類と、それぞれの特徴を理解する。 ・規模からみた企業の違いやそれぞれの特徴を理解し、日本経済の現状や今後の課題について考える。 	<p>【知・技】私企業と公企業の性質や役割の違いを理解し、大企業と中小企業のそれぞれの特徴について、事業所数や従業員数の資料をもとに、調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】規模から見た企業の特徴に着目し、その違いから中小企業の課題を考察し、自分の言葉で表現している。</p>
公民的分野3	株式会社ってなんだろう	58	1	<ul style="list-style-type: none"> ・私企業における会社企業の中で、最も多く存在する株式会社のしくみと特徴について理解する。 ・株式会社に関する会計情報や、企業の社会的責任(CSR)についての情報を知ることの意味を考える。 	<p>【知・技】株式会社のしくみと特徴について、株式会社と株主の関係を踏まえながら理解し、企業の社会的責任について、具体的事例をもとに調べまとめている。</p> <p>【思・判・表】株式会社の会計情報や企業の社会的責任に関する情報が、株主にとってどのような意味をもつのかを考察し、投資を行う株主が必要な姿勢について自分の言葉で表現している。</p>
公民的分野4	社会で働くということ	59	1	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味や、働くことと契約の意義について理解する。 ・労働三法をはじめ、働く人たちの権利を守るために定められた法のあり方や現状を理解する。 	<p>【知・技】働くことの意味や、労働条件の内容について資料から調べ、働く人たちの権利がどのような法律や制度によって守られているかを理解している。</p> <p>【思・判・表】労働者が企業に比べて弱い立場であることを踏まえながら、労働者が自らの権利を守るとともに責任を果たすために必要な姿勢について考察し、表現している。</p>
公民的分野5	誰もが安心して働くために	60	1	<ul style="list-style-type: none"> ・労働環境の変化に伴って、深刻化するさまざまな課題を捉える。 ・非正規労働者の人たちや外国人労働者、女性が抱える労働問題を踏まえ、安心して働くことができる社会のあり方について考える。 	<p>【知・技】女性や非正規労働者、外国人労働者が抱える労働問題を資料から調べまとめ、現在の労働環境の変化とその背景について理解している。</p> <p>【思・判・表】日本の労働環境の変化によって深刻化するさまざまな労働問題に着目し、誰もがワーク・ライフ・バランスを実現できる社会のあり方を多面的・多角的に考察、構想している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けてなぜ、「契約」について学ぶ必要があるのだろうか	61	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活のなかにある契約の事例をもとに、契約を結ぶ際の権利や責任について理解する。 ・契約を結ぶ際に消費者として気をつけなければいけないことを、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現する。 	<p>【知・技】日常生活のなかにある契約の事例や、消費者としての権利と責任について理解している。</p> <p>【思・判・表】契約を結ぶ際に消費者として気をつけなければいけないことを、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主】自らが契約を結ぶ立場になることを理解し、学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野1	ものの価格の決め方	62	1	<ul style="list-style-type: none"> 市場における財やサービスの価格の決め方について、身近な生活の中から具体的に考える。 需要と供給と価格の関係について考え、市場経済のしくみと特性を理解する。 	<p>【知・技】需要と供給曲線のグラフから、需要量と供給量の意味や、均衡価格が決まるしくみを読み取り、市場メカニズムについて理解している。</p> <p>【思・判・表】需要と供給の関係や、商品価格を均衡価格に導く市場経済のしくみについて考察し、効率性の観点から市場メカニズムを説明している。</p>
公民的分野2	さまざまな価格のもつ意味	63	1	<ul style="list-style-type: none"> 主な価格の種類を踏まえながら、競争の役割を通して、市場が機能するために必要な条件を考える。 財やサービスの種類によっては、市場に適さないものがある理由を考える。 	<p>【知・技】市場メカニズムが効率的に機能するために必要な法や制度の意義や、公共料金に公平な価格管理が求められる理由について理解している。</p> <p>【思・判・表】市場メカニズムが適正にはたらくためにはどのような条件が必要か、効率と公正の観点に注目して考察し、説明している。</p>
公民的分野1	金融のしくみと中央銀行	64	1	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関の種類や役割を理解するとともに、銀行のしくみについての理解を深める。 銀行のさまざまな仕事と目的を踏まえながら、日本銀行と一般の銀行との違いを理解する。 	<p>【知・技】金融のしくみや、一般の金融機関の種類や役割、日本銀行の三つの役割について理解している。</p> <p>【思・判・表】一般の銀行と日本銀行の違いについて説明している。</p>
公民的分野2	間接金融と直接金融	65	1	<ul style="list-style-type: none"> 間接金融と直接金融のそれぞれのしくみや特徴と、違いを捉える。 株式市場のはたらきや役割を理解し、投資が本来もつ意味と市場への影響について考える。 	<p>【知・技】間接金融と直接金融の特徴と違い、投資と投機の目的の違いを理解している。</p> <p>【思・判・表】効率と公正の観点から、株式市場のはたらきやその課題点を考察し、説明している。</p>
公民的分野3	財政が果たす三つの役割	66	1	<ul style="list-style-type: none"> 第三の経済主体として、政府の経済活動を表す財政のしくみを理解し、経済の三主体についての理解を深める。 資源配分、所得の再分配、経済の安定化という財政の三つの役割を、具体的に捉える。 	<p>【知・技】さまざまな資料から具体例を読み取り、資源配分、所得の再分配、経済の安定化という財政の三つの役割について理解している。</p> <p>【思・判・表】政府が社会資本や公共サービスを担う理由について、市場経済の特徴を踏まえながら考察し、説明している。</p>
公民的分野4	税金を納めること	67	1	<ul style="list-style-type: none"> 税金の種類とそれぞれの特徴について、身近な暮らしの中から具体的に理解する。 租税には効率性と公平性の問題があることに気づき、納税の意義について考える。 	<p>【知・技】さまざまな資料から、国税と地方税、直接税と間接税、累進課税制度の内容を読み取り、それぞれの特徴やしくみを理解している。</p> <p>【思・判・表】効率と公正の観点から、所得税と消費税のそれぞれの特徴と課題点を考察し、説明している。</p>
公民的分野5	税金の行方と国の借金	68	1	<ul style="list-style-type: none"> 政府の収入(財源)と支出の内容や、特徴について理解する。 財政赤字など政府が抱える課題とその取り組みについて理解し、今後の財政のあり方を考える。 	<p>【知・技】さまざまな資料から、国の歳入と歳出の状況を読み取り、国と地方の財政における関連や、国債残高が増加している背景などについて理解している。</p> <p>【思・判・表】財政赤字の背景や、国債残高が今後も増え続けていく場合に生じる問題点について考察し、その解決に向けた提案を構想し、表現している。</p>
公民的分野6	経済政策が目ざすもの	69	1	<ul style="list-style-type: none"> 経済の成長と安定のしくみや、自分たちの生活との関連を理解する。 経済の安定のために、政府や日本銀行が行う経済政策について理解し、どのように行われるべきかを考える。 	<p>【知・技】景気循環や、インフレーションとデフレーションが私たちの生活に与える影響や、政府と中央銀行の経済政策について理解している。</p> <p>【思・判・表】政府が行う財政政策と、中央銀行が行う金融政策について、その違いを考察し、それぞれの効果を説明している。</p>
公民的分野	学習のまとめと表現 第4章:私たちの暮らしと経済	70	1	<ul style="list-style-type: none"> 第4章の各節で学習したことを振り返り、家計、企業、市場、金融と財政について理解する。 第4章の問いについて、見方・考え方ははたらかせて、多面的・多角的に考察し、表現する。 市場のはたらきと経済に関する諸課題について着目し、主権者としてよりよい社会の構築に向けて関わろうとする。 	<p>【知・技】第4章の各節で学習したことを振り返り、家計、企業、市場、金融と財政について理解している。</p> <p>【思・判・表】第4章の学習を振り返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、章の問いについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】第4章のはじめに立てた学習の見通しを踏まえて、学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p> <p>【主】市場のはたらきと経済について、現代社会に見られる課題を考察し、課題解決に向けてさらに追究しようとしている。</p>
公民的分野1	身のまわりの社会保障制度	71	1	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度の意義と、暮らしの中で果たす役割について具体的に理解する。 高齢化の観点から、現在の日本の社会保障制度が抱える課題を考える。 	<p>【知・技】失業率の推移や人々が生活の中で抱えている不安に関する資料を読み取り、社会保障制度の意義と、それが果たすべき役割を理解している。</p> <p>【思・判・表】高齢化が進んでいる日本の現状を踏まえながら、日本の社会保障制度の課題について考察し、説明している。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野2	互いに助け合う社会	72	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本の社会保障制度の目的と、そのしくみや特徴を理解する。 社会保障制度の中でも特に社会保険と、生活保護の制度がもつ役割について理解を深める。 	<p>【知・技】社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生という日本の社会保障の四つの項目と、それぞれの内容について理解している。</p> <p>【思・判・表】社会保障制度が所得の再分配機能を果たしていることについて、社会保険と生活保護の制度から具体的に考察し、説明している。</p>
公民的分野3	社会保障を維持するために	73	1	<ul style="list-style-type: none"> 進む少子高齢化の中で、社会保障制度が抱える課題を具体的に理解する。 介護保険や年金保険などの給付と負担の関係について理解し、これからの社会保障制度を支えていくために必要なことを考える。 	<p>【知・技】日本の総人口と年齢層の推移などの資料から日本の社会保障制度の課題を具体的にまとめ、介護保険や年金保険などの給付と負担の関係について理解している。</p> <p>【思・判・表】少子高齢化、人口減少が進む中で、これからの社会保障制度がどうあるべきか、効率と公正、財源の確保と配分という視点から、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野4	暮らしやすいまちづくりへ	74	1	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本について具体的に理解し、高齢者や障がいのある人への設備の充実のために、どのような考え方が大切なのかを理解する。 身近な地域社会にはどのような課題があり、どのような取り組みが必要かを考える。 	<p>【知・技】誰もが暮らしやすいまちづくりをするために、社会資本の整備が大切であることや、「バリアフリー」の充実、「ユニバーサルデザイン」の普及がより一層必要になっていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】自分の住む地域社会が、誰にとっても暮らしやすくなるために必要な社会資本の工夫について、効率と公正、権利と責任の視点から、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野5	持続可能な社会に向けてなぜ、「障がいの社会モデル」が注目されているのだろう	75	1	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した内容の中から、テーマを決めてレポートを作成する活動を通して、社会の少数派の人々と「ともに生きる」ために解決すべき課題に対する理解を深める。 課題を自らのこととして捉え、まとめたことを学校の外部にも共有する。 	<p>【知・技】出典を正しく示したグラフやデータで、比較や推移を適切に表現しながら、自分が設定した社会保障に関するテーマでレポートをまとめ、その内容を理解している。</p> <p>【思・判・表】自分が設定した社会保障に関するテーマについて、調査した内容を多面的・多角的に考察し、レポートや他者に共有できるように効果的にまとめて表現している。</p> <p>【主】社会の少数派の人々と「ともに生きる」ための課題の解決に向けて、自らの学習を振り返り、生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野1	循環型社会にむけて	76	1	<ul style="list-style-type: none"> 公害問題への理解を通して、環境保全への取り組みが進められてきたこれまでの歴史や、現状を捉える。 排出ごみの問題解決や、企業・行政・市民による協働が循環型社会の実現のために求められていることを理解し、環境問題へ積極的に取り組むことの重要性に気づく。 	<p>【知・技】四大公害病を中心とした公害問題と、その後定められた環境を守るための法律や循環型社会への取り組みについて具体例を調べ、その内容を理解している。</p> <p>【思・判・表】これからの循環型社会を形成するために、企業・政府・市民はどのような経済活動をする必要があるのか、持続可能性の視点から考察、構想し、自分の言葉で表現している。</p>
公民的分野2	グローバル化する経済	77	1	<ul style="list-style-type: none"> 経済におけるグローバル化の進展によって、国際社会では何が起こり、その結果日本にはどのような影響があったかを理解する。 グローバル化する国際社会の中で、日本経済が抱える課題とその解決について考えを深める。 	<p>【知・技】日本企業の海外生産比率や非正規雇用者の割合などを調べ、グローバル化する経済の中で日本経済が抱える課題について理解している。</p> <p>【思・判・表】経済がグローバル化することの長所と短所を踏まえながら、日本経済が抱える課題とその解決方法について、効率と公正の視点から、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野3	新たな日本経済のあり方	78	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本の「ものづくり」の特徴や課題、地域による格差の解消に向けた取り組みなど、日本経済の現状を捉える。 さまざまな地域の新しい試みの成果や課題を捉え、これからの日本経済のあり方を考える。 	<p>【知・技】地域間格差など日本経済が抱える課題の解決に向けて、利益そのものよりも自然環境との調和や地域住民とのつながりなど、新たな「豊かさ」を旨とした経済活動が広がっていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】具体的な取り組みを参考にしながら、自分が考える「豊かさ」を基盤としたこれからの日本経済のあり方について、考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野5	持続可能な社会に向けてなぜ、貿易を行うのだろう	79	1	<ul style="list-style-type: none"> 貿易のもつ利点、過去の日本の貿易のあり方や現状、為替レートのみなどを理解しながら、貿易の意義と、国際社会における日本経済の課題について考えを深める。 	<p>【知・技】現在の世界と日本の貿易をめぐる動きについて調べ、貿易や為替のしくみ、自由貿易と保護貿易の特徴について理解している。</p> <p>【思・判・表】為替レートの変動が貿易に及ぼす影響について考察し、自分の言葉で説明している。</p> <p>【主】国際社会における日本経済の課題の解決に向けて、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野	学習のまとめと表現 第5章:安心して豊かに暮らせる社会	80	1	<ul style="list-style-type: none"> 第5章の各節で学習したことを振り返り、社会保障と経済の課題について理解する。 第5章の問いについて、見方・考え方はたからせて、多面的・多角的に考察し、表現する。 国民の生活と政府の役割に関する諸課題について着目し、主権者としてよりよい社会の構築に向けて関わろうとする。 	<p>【知・技】第5章の各節で学習したことを振り返り、社会保障と経済の課題について理解している。</p> <p>【思・判・表】第5章の学習を振り返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、章の問いについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】第5章のはじめに立てた学習の見通しを踏まえて、学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p> <p>【主】国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題を考察し、課題解決に向けてさらに追究しようとしている。</p>
公民的分野	1 国際社会を構成する国	81	1	<ul style="list-style-type: none"> 主権国家を基本単位として構成される国際社会の特色や、どの主権国家にもある国旗と国歌の意義と役割を理解する。 国際社会の平和と秩序を維持していくために、国際法が果たしている役割と課題について考えを深める。 	<p>【知・技】さまざまな資料から、主権国家がもつ権利や国旗と国歌の役割、国際法の特徴を調べまとめ、国家の主権が相互に尊重されることの意義を理解している。</p> <p>【思・判・表】主権国家がもつ国旗と国歌の意義や国際社会での平和と秩序を守るために国際法が果たす役割について、国際社会の現状や課題と関連づけながら、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野	2 日本の領土をめぐる	82	1	<ul style="list-style-type: none"> 国家の主権が及ぶ範囲について理解する。 日本の領土をめぐる課題を捉えとともに、国際社会の平和と秩序を維持していくために大切なことは何かを考える。 	<p>【知・技】国家の主権が及ぶ範囲や排他的経済水域、日本の領土問題について調べまとめ、国家が成立する要素について理解している。</p> <p>【思・判・表】日本の領土をめぐるはどのような問題があり、解決に向けてどのようなことが重要か、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野	持続可能な社会に向けて なぜ、外交の役割は重要なのだろう	83	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本の外交の基本的な考え方とともに、中国、北朝鮮、ロシアとの外交関係について、それぞれの現状と課題、今後の交渉のあり方を考えながら、日本の外交の今とこれからについて深く考える。 	<p>【知・技】日本政府の外交政策の基本的な考え方や、中国との関係、北朝鮮との日本人拉致問題及び国交正常化、ロシアとの北方領土問題における外交政策のあり方について理解している。</p> <p>【思・判・表】日本の外交政策のあり方や、中国、北朝鮮、ロシアとの間における外交交渉のあり方を、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】他国の政府との関係や関係改善のあり方に関する課題の解決に向けて、自らの学習を振り返り、今後の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p>
公民的分野	3 国際社会のまとめ役	84	1	<ul style="list-style-type: none"> 国際連合が成立した経緯としくみ、そのはたらきを理解し、国際機構の果たす役割の大切さに気づく。 平和維持活動(PKO)やさまざまな専門機関など、世界の平和や人々の暮らしの向上に努める国連の活動を理解する。 	<p>【知・技】国際連合誕生の経緯や目的、しくみ、はたらき等について調べまとめ、国際社会における国際連合の役割を理解している。</p> <p>【思・判・表】国際連合が国際社会で果たす役割や、安全保障理事会などの専門的な機関がどのような活動を行っているのか理解し、国際貢献のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野	4 地域統合の光と影	85	1	<ul style="list-style-type: none"> EU、ASEAN、APEC、CPTPPなどを例に、国際社会における地域統合についての理解を深め、日本との関わりについて考える。 日本が結んでいる経済連携協定について調べ、その効果や日本への影響を考える。 	<p>【知・技】EU、ASEAN、APEC、CPTPPなどの目的やしくみ、概要等について調べまとめ、地域統合(地域主義)や国際社会における結びつきの意義を理解している。</p> <p>【思・判・表】日本も含めた国際社会の地域統合(地域主義)や自由貿易協定の長所・短所について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野	5 世界の一員として	86	1	<ul style="list-style-type: none"> アジアを中心とした日本の国際貢献について、技術協力や経済援助の視点から捉え、今後も他国から期待される活動のあり方を考える。 NGOによる国際支援活動の具体例を通して、民間でもできる国際支援の方法や特徴について考える。 	<p>【知・技】さまざまな資料をもとに、日本が世界の一員として国際貢献を進めてきた経緯や事業内容について調べまとめ、国際貢献の意義や国際支援のあり方について理解している。</p> <p>【思・判・表】ODA、NGOをはじめとする日本の国際貢献と、私たち一人一人ができることについて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野6	核なき世界の実現へ	87	1	<ul style="list-style-type: none"> 核をとりまく国際社会の現状と、核軍縮の動きや課題を捉える。 平和主義を貫くという視点から、日本が国際社会で果たせる役割や、今後も期待される活動を考える。 	<p>【知・技】核の廃絶や軍縮の実現のために、唯一の被爆国である日本が果たす役割が大きいことを理解している。</p> <p>【思・判・表】核保有国の核弾頭保有数や世界情勢などをもとに、核廃絶が実現しない理由について、多面的・多角的に考察、構想し、説明している。</p>
公民的分野1	終わらない地域紛争	88	1	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域紛争の現状を理解し、紛争が長引く原因や解決を妨げる課題について考える。 難民問題など紛争が及ぼす未解決の課題について、その原因を理解し、解決策について考える。 	<p>【知・技】世界各地で発生する難民問題の背景の一つに地域紛争があることを調べまとめ、各国や国連機関がさまざまな取り組みを進めていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】世界各地で見られる地域紛争の長期化、複雑化の原因と、その解決を妨げる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野2	さまざまな価値観の中で	89	1	<ul style="list-style-type: none"> 世界のさまざまな文化や宗教が、人々に与える影響について理解を深める。 多様性を受け入れることが、社会にとってどのような意味をもつのかについて考える。 	<p>【知・技】世界の人々が言語、宗教、習慣、歴史などの文化的要因からさまざまな民族に分けられることを調べまとめ、互いの文化や価値観に敬意を払い、多様性を認めながら共存することが大切であることを理解している。</p> <p>【思・判・表】世界のさまざまな文化や宗教が人々の暮らしに与える影響や、互いの価値観や多様性を認め合うことの意義を考察し、表現している。</p>
公民的分野3	安全をおびやかすもの	90	1	<ul style="list-style-type: none"> 「人間の安全保障」という考え方の広がりに着目し、こうした考え方が注目されるようになった背景に気づく。 グローバル化が進む国際社会という広い視野から、南北問題や南南問題などの国家間の格差の現状と課題について考える。 	<p>【知・技】南北問題や南南問題などの国家・地域間の格差が生まれる背景について調べまとめ、人間の安全保障の理念の下に「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組むことの意義を理解している。</p> <p>【思・判・表】人間の安全保障の理念に基づいた「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成のために、国家間のさまざまな格差の解消に向けた取り組みのあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野4	なくてはならない食糧と水	91	1	<ul style="list-style-type: none"> 「人間の安全保障」という視点から、食糧と水の不足を中心に、世界が抱える深刻な問題の原因や背景について考える。 水資源をめぐって起こっている世界の動きに気づき、自分たちの生活への影響やこれからの世界のあり方を考える。 	<p>【知・技】「人間の安全保障」の実現をみざす一方で、食糧不足、水不足が生じる背景、理由を調べまとめ、先進国が果たす役割について理解している。</p> <p>【思・判・表】人間の生命や地球環境を守るために人類が果たすべき役割のうち、特に先進国が果たす役割と私たち一人一人ができることについて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野5	子どもと女性をめぐって	92	1	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会において、弱い立場におかれやすい子どもや女性が、深刻な問題を多く抱えている現状とその背景に気づく。 弱い立場にある人々の人権が尊重される社会を築いていくことが、これからの社会にとって重要であることを理解する。 	<p>【知・技】国際社会において、子どもや女性が抱えている問題について調べまとめ、これからの社会にとって不平等や差別の解消が重要であることを理解している。</p> <p>【思・判・表】国際社会において、子どもや女性など弱い立場にある人々の権利が尊重される社会の構築のために、私たちができることを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野6	これからの資源・エネルギー	93	1	<ul style="list-style-type: none"> 限りある資源と新しいエネルギーに関して、それぞれの現状と今後の課題を理解する。 原子力発電所の事故を踏まえ、資源やエネルギーを安全で持続可能な手段によって利用していく方法について、自分たちの暮らしと関わらせて考える。 	<p>【知・技】資源・エネルギーの現状や課題について調べまとめ、限りあるエネルギーの問題を解決するためにさまざまな技術開発が進められていることや、再生可能エネルギーの特徴や利点を理解している。</p> <p>【思・判・表】さまざまな化石燃料や原子力発電の問題点と再生可能エネルギーの特徴や利点について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
公民的分野7	「生命の星」を守るために	94	1	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化をはじめとする、さまざまな地球環境問題の原因と現状に気づき、これまでの国際的な動きを整理してまとめることができる。 地球温暖化とその影響について理解するとともに、国によって地球環境問題への取り組みには立場や考え方の違いがあり、対話と調整を続けることが大切であることを理解する。 	<p>【知・技】狩猟、採集、農耕社会を経て、化石燃料を多く使用した工業化社会の問題点について調べまとめ、砂漠化、大気汚染、水質汚濁等の地球環境問題の解決に向けた国際的な動きについて理解している。</p> <p>【思・判・表】地球環境問題が起こる原因と、問題の解決に向けた国際社会ができる取り組みや私たち一人一人ができることについて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>

第3学年	社会				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
公民的分野	持続可能な社会に向けて なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成すべきなのだろう	95	1	<ul style="list-style-type: none"> 現在の国際社会には、各地で厳しい課題に直面している多くの人々がいることを捉える。 持続可能な社会の構築に向けて、自分の考えをさらに深めるきっかけとして、さまざまな課題への理解を深める。 	<p>【知・技】持続可能な発展を実現するうえで、国際社会にはさまざまな課題があることについて調べまとめ、それらがSDGs(持続可能な開発目標)のどこに該当するか理解している。</p> <p>【思・判・表】現在の国際社会において特に解決しなくてはならない社会的課題を複数挙げ、「最優先に取り組むべき」、「優先して取り組むべき」、「次に取り組むべき」の3段階にランキングし、その結果を理由とともに説明している。</p> <p>【主】持続可能な社会の構築に向けた課題の解決のために、取り組むべきテーマを見だし、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
公民的分野	学習のまとめと表現 第6章:国際社会に生きる私たち	96	1	<ul style="list-style-type: none"> 第6章の各節で学習したことを振り返り、世界平和、世界の諸課題について理解する。 第6章の問いについて、見方・考え方をはたらかせて、多面的・多角的に考察し、表現する。 世界平和と人類の福祉の増大に関する諸課題について着目し、主権者としてよりよい社会の構築に向けて関わろうとする。 	<p>【知・技】第6章の各節で学習したことを振り返り、世界平和、世界の諸課題について理解している。</p> <p>【思・判・表】第6章の学習を振り返って、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、章の問いについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】第6章のはじめに立てた学習の見通しを踏まえて、学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見いだしている。</p> <p>【主】世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題を考察し、課題解決に向けてさらに追究しようとしている。</p>
公民的分野	1 持続可能な未来と私たち	97	1	<ul style="list-style-type: none"> 学んできたSDGsを視点に、さまざまな課題と自分なりに向き合いながら、課題解決のための答えを探していくことの大切さに気づく。 これまでの学習の集大成として、持続可能な未来に向けた作品・私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成する準備を行う。 	<p>【知・技】SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、先進国も発展途上国も取り組むべきことについて調べまとめ、経済的発展だけでなく、人間的発展に向けた開発を旨とする重要性を理解している。</p> <p>【思・判・表】「私の提案」の作成について、「つながる」「つづける」「つりあう」「つつみこむ」の視点から、持続可能な未来のために自分と社会をどのように変えていくか、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>
公民的分野	2 私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう	98	2	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集や表現方法の選択、テーマを追究する手順を具体的に考える。 追究する個人テーマと、持続可能性を妨げる課題との関わりについて理解し、SDGsをつなげながら、手順にそって作成する。 	<p>【知・技】持続可能性を妨げる主な課題について、グローバルとローカルの両面から調べまとめ、SDGsとのつながりや関係を理解している。</p> <p>【思・判・表】持続可能な未来に向け、これまでの学びから自分自身の生き方や考え方の広がりや深まりについて多面的・多角的に考察、構想し、私の提案の根拠を「5W1H」の視点から説明している。</p>
公民的分野	3 持続可能な未来への対話	99	1	<ul style="list-style-type: none"> 完成した「自分を変える、社会を変える」を相互に発表し合い、インタビュー形式の他者との対話を通してさらに改善を考える。 卒業後も、「ともに生きる社会」の実現に向けて、「自分を変える、社会を変える」を生かして行動し続けていくことの大切さに気づく。 	<p>【知・技】持続可能な未来に向けた対話を通して、他者との共通点や相違点について調べまとめ、考え方の違いを乗り越え、他者と協働する機会が大切であることを理解している。</p> <p>【思・判・表】他者との「未来への対話」を通し、自分が作成した提案をさらに改善し、持続可能な未来について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>